

株式会社バイ・テクノロジー

# 第24回定時株主総会

2021年6月24日

# 第24回株主総会

## 【ご報告事項】

1. 第24期の事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第24期計算書類報告の件

## 【決議事項】

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 定款一部変更の件

# 事業報告

---

## 1. 企業集団の現況について

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

# (1) 事業の経過および成果

## ① 事業の概況(1/2)

当連結会計年度の事業環境（経済環境）

世界経済	新型コロナウイルス感染症の再拡大等の影響を受け、全体としては1年間を通して厳しい状況が継続
米国	大規模な景気対策がなされ、持ち直し
中国	いち早く経済活動を再開し回復
日本	景気対策がなされたものの新型コロナウイルス感染症の再拡大等の影響を受け、先行き不透明な状況が継続

# (1) 事業の経過および成果

## ① 事業の概況(2/2)

当連結会計年度の事業環境 (FPD、SEMI)

**FPD**

中国における新工場立上げ作業の再開や、巣ごもり消費等を背景とした好調なFPD販売を背景に、業績は期初の予想にほぼ沿う形で推移し着地

**SEMI**

世界的な半導体不足などを背景に、旺盛な設備需要を確認

# (1) 事業の経過および成果

## ① 設備投資の状況

- ✓ 設備投資額：1,625百万円
- ✓ 主な用途は機械装置(ソフトウェアの購入による無形固定資産145百万円含む)

## ② 資金調達の状況

- ✓ 重要な資金調達は無し



株式会社ブイ・イー・ティー本社工場

## (2) 重要な事業再編の状況

- ① 2020年4月:V-Tech Shining Color Technology(Kunshan)Co.,Ltd.を設立(株式保有割合50%)
- ② 2021年1月:リソテックジャパン株式会社の全株式を取得し子会社化
- ③ Kunshan V Technology Co., Ltd.とShanghai VN Systems Co.,Ltd.は、2021年1月1日を効力発生日として、Kunshan V Technology Co., Ltd.を存続会社とする吸収合併を実施

### V-Tech Shining Color Technology

欠陥パネルを良品化する「サルベージサービス」を提供



# (3) 財産および損益の状況の推移(1/3)

## ① 企業集団の損益の状況

- ✓ コロナ影響も計画通り概ね進捗、前年比で増収増益にて着地
- ✓ ミックス変化、コストダウン効果による

(百万円)	20年3月期		21年3月期		前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	54,322	100.0%	55,186	100.0%	+1.6%
売上総利益	15,122	27.8%	15,704	28.5%	+3.8%
営業利益	5,653	10.4%	6,604	12.0%	+16.8%
経常利益	6,156	11.3%	6,836	12.4%	+11.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,251	6.0%	3,513	6.4%	+8.1%

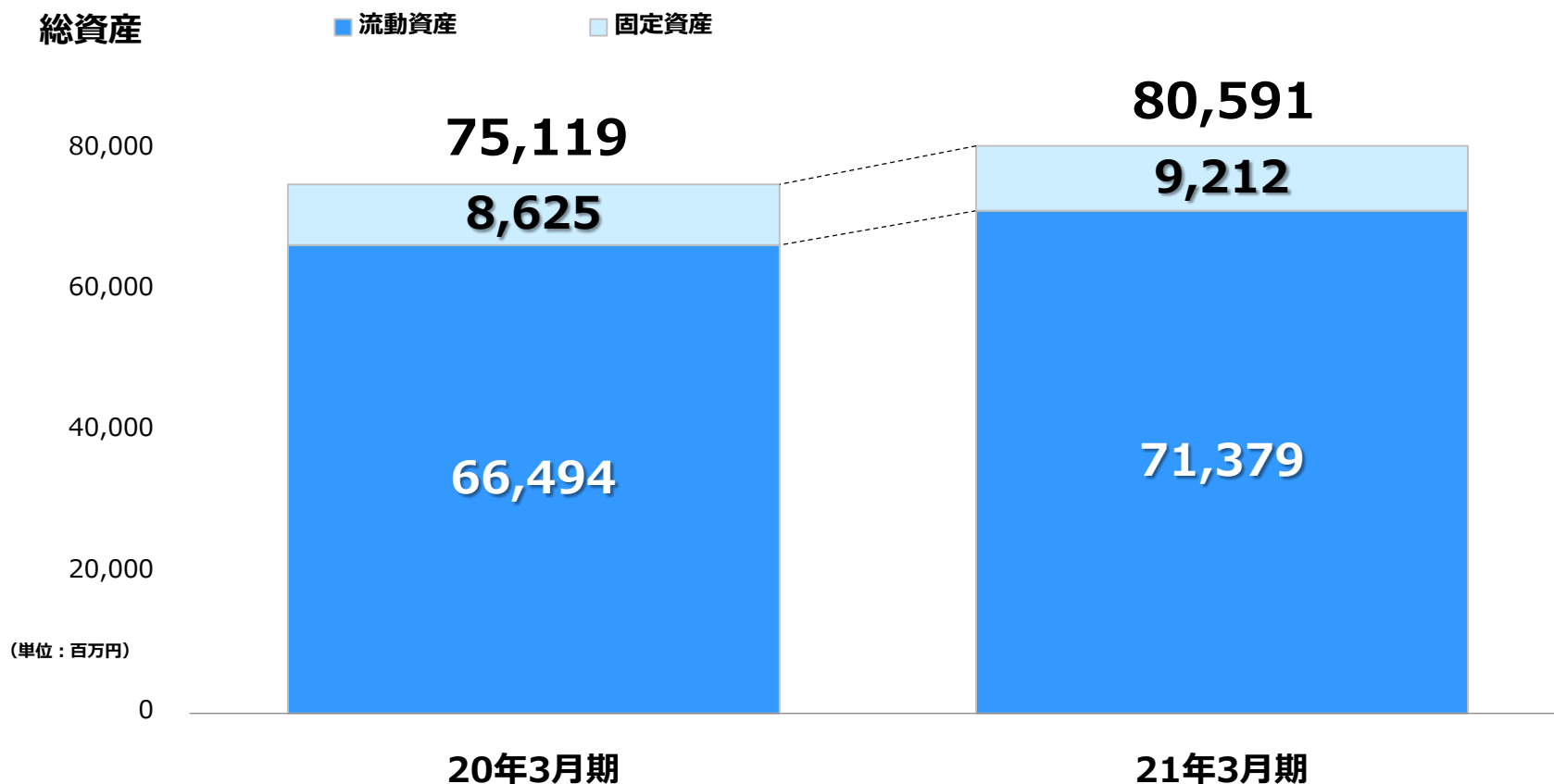


# (3) 財産および損益の状況の推移(2/3)

## ① 企業集団の財産の状況(総資産)

■ 総資産は前期比5,472百万円増加し、80,591百万円

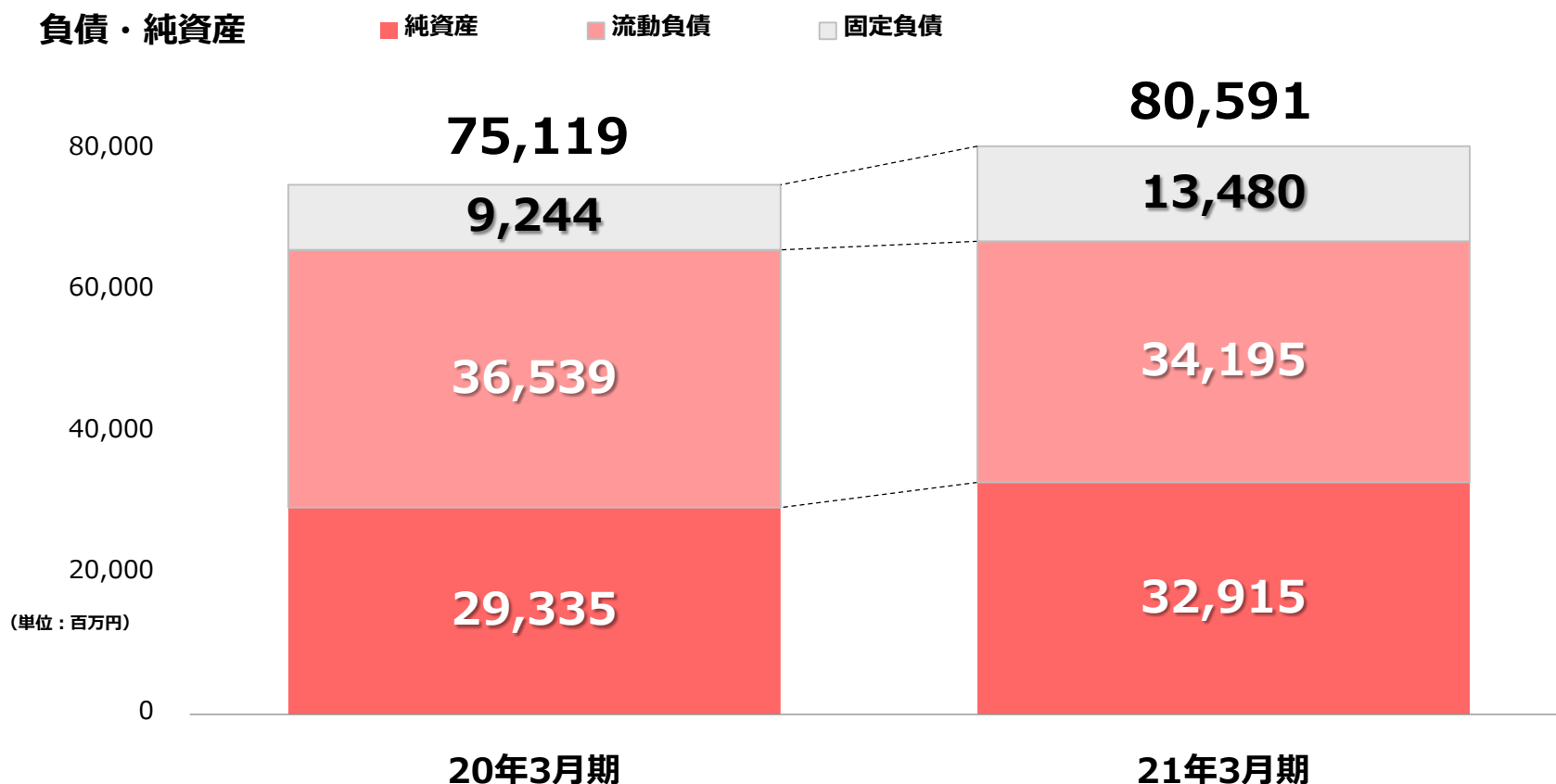
- 流動資産は「現金及び預金」等の増加により、71,379百万円(前期比4,885百万円増)
- 固定資産は「建設仮勘定の増加」等により、9,212百万円(前期比587百万円増)



# (3) 財産および損益の状況の推移(3/3)

## ① 企業集団の財産および損益の状況（負債・純資産）

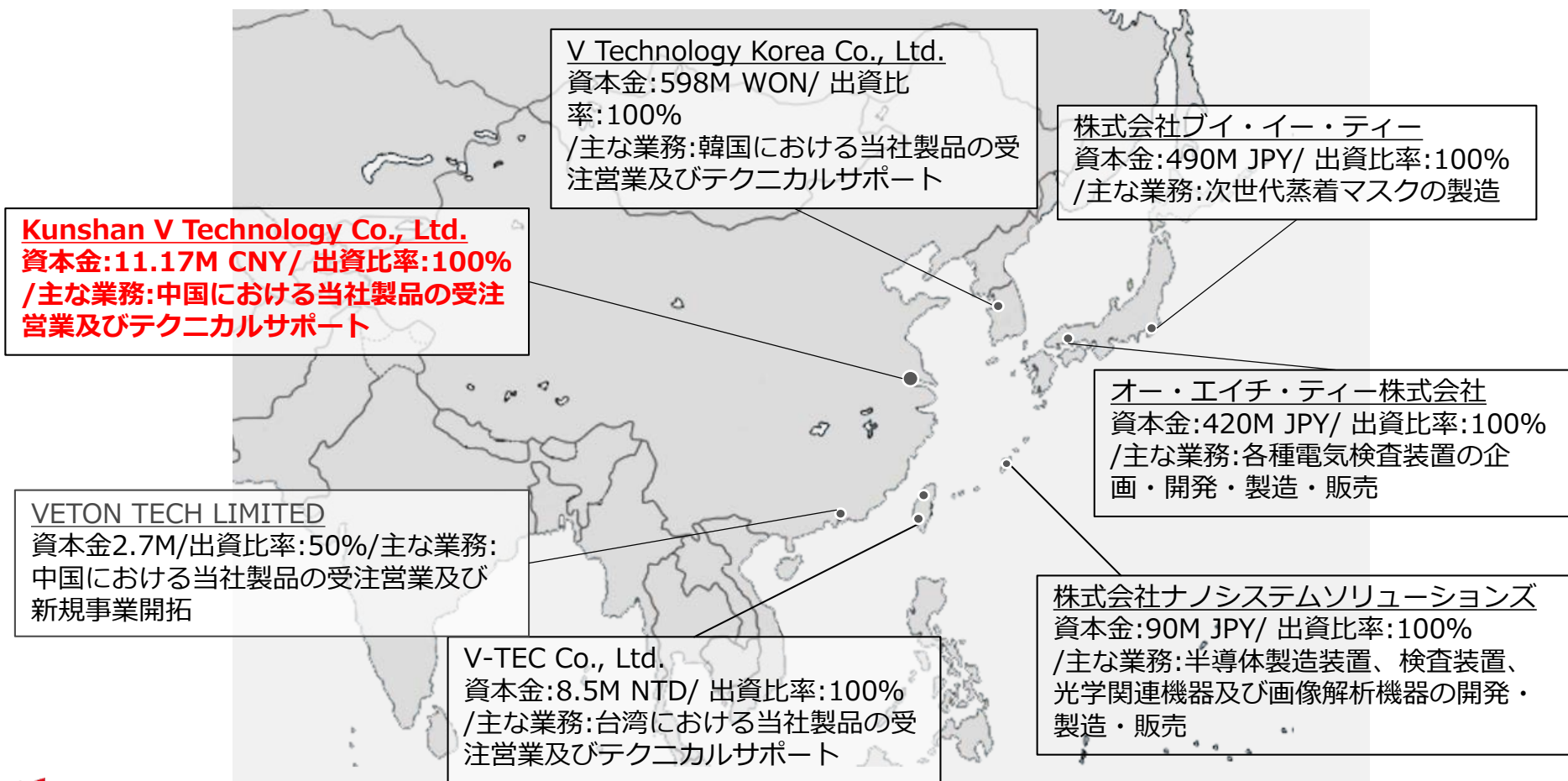
- 負債は前期比1,892百万円増加し47,676百万円
  - 流動負債は「前受金」等の減少により34,195百万円(前期比2,344百万円減)
  - 固定負債は「長期借入金」の増加により13,480百万円(前期比4,235百万円増)
- 純資産は利益剰余金の増加等により前期比3,580百万円増加し32,915百万円



# (4) 親会社および子会社の状況

- ① 親会社の状況：該当なし
- ② 重要な子会社の状況：Kumshan V TechnologyがShanghai VN Systems を吸収合併

## 重要子会社一覧



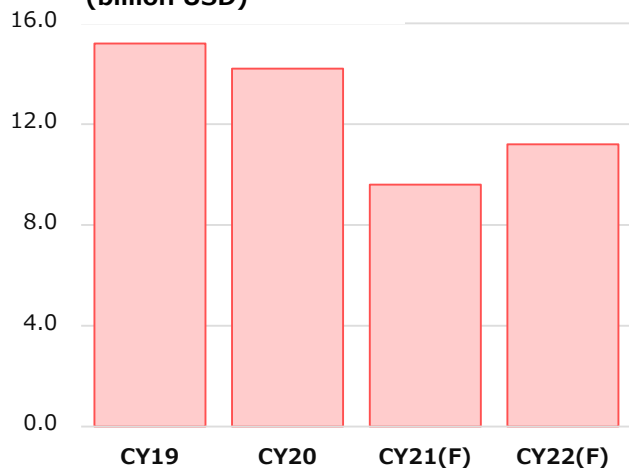
# (5) 対処すべき課題

## ① 経営環境

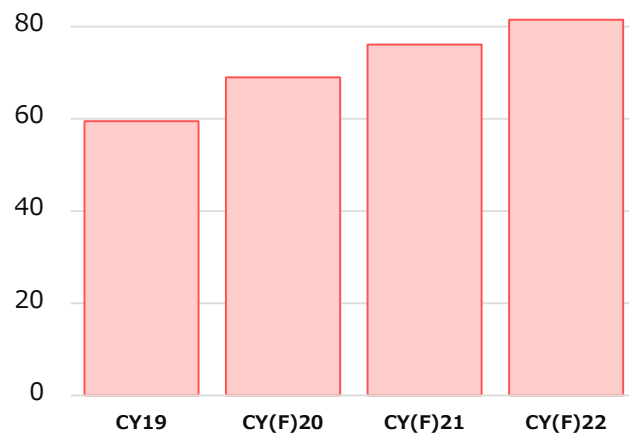
- DX(デジタルトランスフォーメーション)、自動車の生産の再開等が、半導体やFPD(フラットパネルディスプレイ)に対する需要を拡大
- FPDの設備投資について、大型FPD工場の新設が一服も、既存工場の増強に関連した商談が増加
- 半導体需要は、ローエンドからハイエンドまで、高水準で推移し、半導体製造装置の商談が増加

## 1. 関連市場の動向

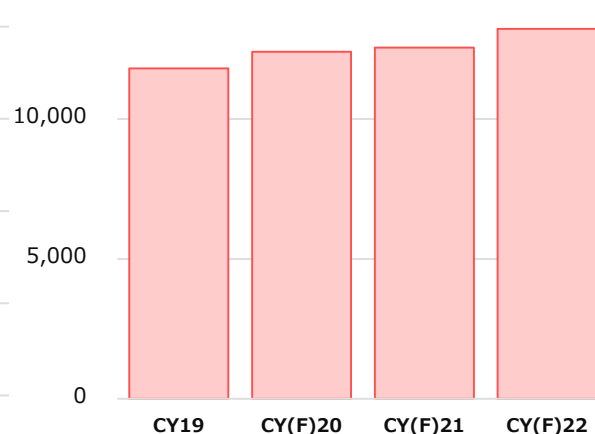
FPD製造装置市場予測\*1  
(billion USD)



半導体製造装置市場予測\*2  
(billion USD)



Siウエーハ市場予測\*2  
出荷面積(百万平方インチ)



\*1、OMDIA(OLED and LCD Supply Demand Equipment Tracke(2021)より作成

\*2:SEMI 2020、2021発表資料より当社にて作成

# (5) 対処すべき課題

## ② 中長期的な成長を実現する為の取組み(バイ・テクノロジー単体) 1/5

### FPD

#### 1. 従来装置事業の強化

各種施策を実施

体制

製品化速度/装置性能/顧客満足の向上を目的とした組織の変更

従来装置の主なテーマ：性能/能力向上 コストダウン カスタマーサポート

製造装置



検査装置



#### 2. 次世代FPD技術開発①

WOLED VS Mini-LED(LCD)、μLED

欠点の少ないMini-LEDに注目集まる一方でμLEDの開発活発

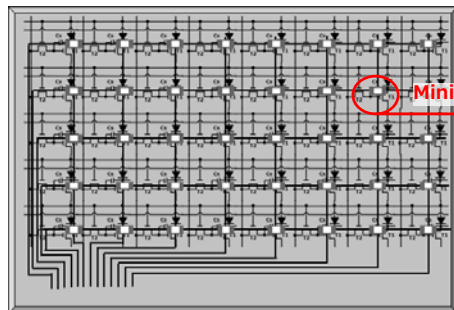
	LCD	White OLED	印刷	Mini-LED	μ-LED
画質	△	◎	○	○	◎
生産性	◎	△	△	○	△
寿命	◎	△	×	◎	◎

FPD技術別比較表(画質/生産性/寿命)\*2

#### 3. 次世代FPD技術開発② Mini-LED/μLED関連の技術開発

##### ① Mini-LEDの画質課題

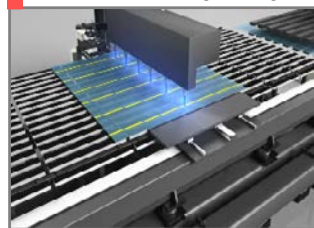
- ✓ ちらつき・低輝度(バック駆動)
- ✓ アクティブ駆動+Mini-LED高密度実装で課題解決可能
- ✓ BLDAは低コストにTFTを改善(高電子移動度・耐光性)



(例)アクティブ回路を用いた MiniLEDバックライトユニット概念図

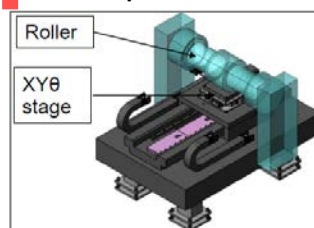
##### ② コロナ禍で共同開発遅れも、今期に試作機を販売、来期より本格的な事業の立上りを期待

レーザーアニール装置(BLDA)



半導体レーザーにより各種FPDに最適な結晶構造を持つSi膜をガラス基板上形成

ローラー型μLED移載装置



他、レーザーリフトオフ装置、欠陥チップ修正装置等、主要工程を担う装置を同時開発

### SEMI

#### 4. 半導体関係製品のR&D

##### ① レガシー半導体フォトマスク用に新型の検査装置、修正装置を開発

Compact Repair System



##### ② FPD露光装置技術をベースに半導体パッケージ用露光装置を開発

- ✓ 高精細/高生産性

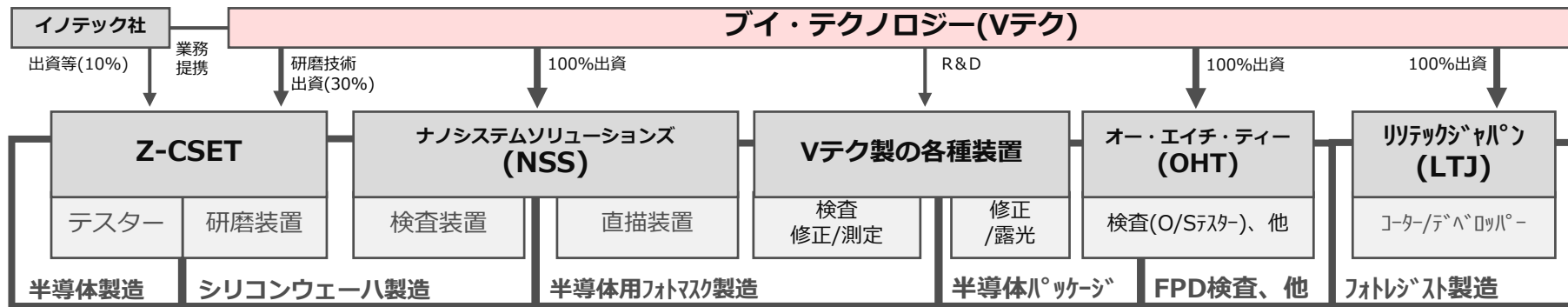
# (5) 対処すべき課題

## ② 中長期的な成長を実現する為の取組み(子会社、半導体) 2/5

### 1. グループ一丸で成長施策を推進、強みが活かせる分野に積極的に参入

M&A・業務提携・R&Dを駆使し、事業を短期間で拡大

(図)装置系主要子会社との資本関係、および製品と対象市場



### 2. ナノシステムソリューションズ(NSS)

ウェーハ及び半導体市場成長を背景に商談急増、グループのリソースを集中投入し対応を強化

① Siウェーハ検査装置は、国内外の生産ライン増強に伴い商談急増



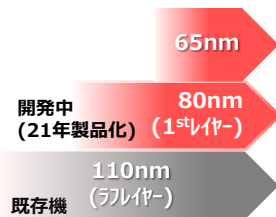
Siウェーハ検査装置

② 半導体マスク描画装置は、レガシー半導体需要増に伴い置換え需要も増加



半導体マスク描画装置

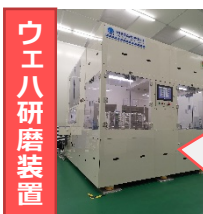
③ 半導体マスク描画装置の次世代機を開発中



製品開発ロードマップ

### 3. Z-CSET

量産用の研磨装置、テスターの受注に成功



ウェーハ研磨装置

- ・追加商談進行中
- ・現地生産の強みを活用、量産適用実績を積上げ、シェア拡大



テスター

- ・大手メモリーメーカーからの受注に成功
- ・周辺部材や装置への参入も視野

# (5) 対処すべき課題

## ② 中長期的な成長を実現する為の取組み(子会社、部材・サービス) 3/5

### 1. VSC(サルベージサービス)/中小型OLED市場

#### サルベージサービス状況

- ① IPを搭載するドライバICの生産が遅れ、6月から本格稼働予定
- ② 年間1000K~1500Kパネルの需要を期待



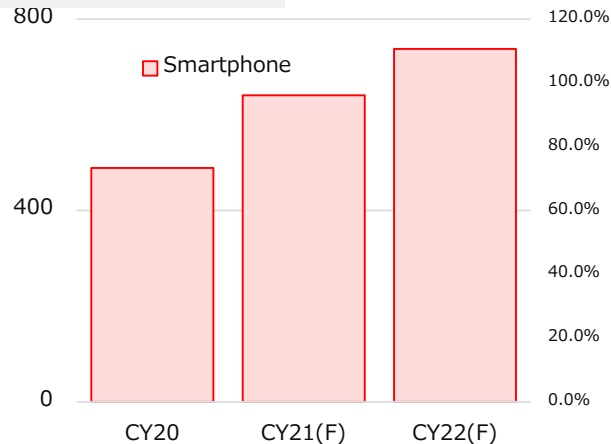
昆山工場外観



Demura装置

#### 中小型OLED市場は回復

中小型OLED需要予測\*1

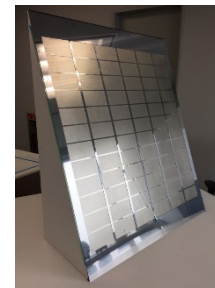


\*1、OMDIA(OLED and LCD Supply Demand Equipment Tracker(2021)より作成

### 2. VET(OLED用蒸着マスク)

- ① 顧客との共同評価遅れ、遅れを取り戻すべく加速、下期からの販売を目指し加速

- ② 蒸着マスク(Fine Hybrid Mask)



(写真)FHM

#### 特長

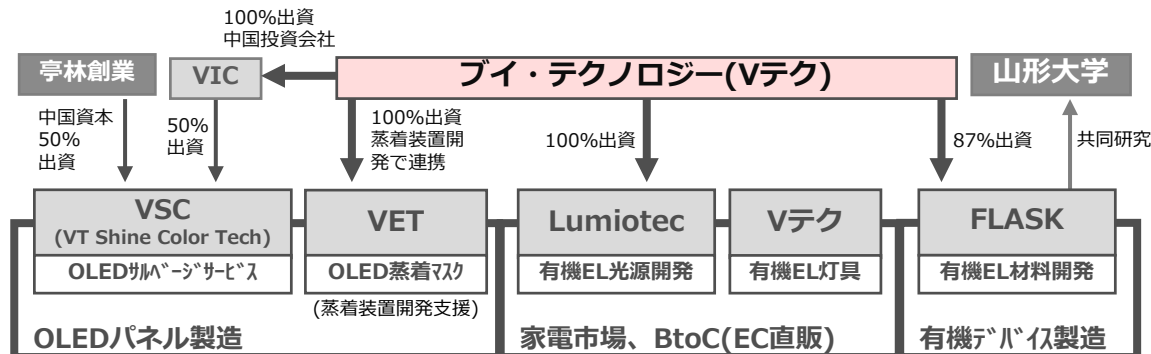
- 樹脂+金属のハイブリッド構造を採用
- 最軽量/高精細/高位置精度
- 組立作業不要

### 3. 有機EL照明/灯具販売

- ① 有機EL照明
  - ✓ CHVT設置の生産ライン改善
  - ✓ 素子の長寿命化/コストダウン
- ② 灯具等
  - ✓ 今期からの販売を目指し、独自ブランド製品としてデザイン企画検討等、順調に進展

#### (ご参考)部材・サービス分野の事業状況

#### (図)部材・サービス系主要子会社との資本関係、および製品と対象市場





# (5) 対処すべき課題

## ② 中長期的な成長を実現する為の取組み(農業) 4/5

### 1. 5月12日開催の取締役会において、農業合弁会社設立と定款変更を決議

サステナブル経営の視点から、環境・社会課題の解決の事業化に取り組み、中長期の安定成長を実現

#### ① 第一弾として、独自の経営リソース活用と安定した需要が見込める分野に参入

- 合弁会社で高付加価値トマトの生産販売に挑戦
- 味・品質等の点で群を抜く農産物への安定した需要
- 優れた環境特性を持つアイメック®によるトマト生産

#### ② リスク分散の視点

- 海外輸出比率95%、国内事業のウェイトが低い
- 設備投資サイクルが業績に影響
- 各国のハイテク産業政策変化/米中問題等の国際情勢変化

#### VTの事業ポートフォリオ(産業分野別)

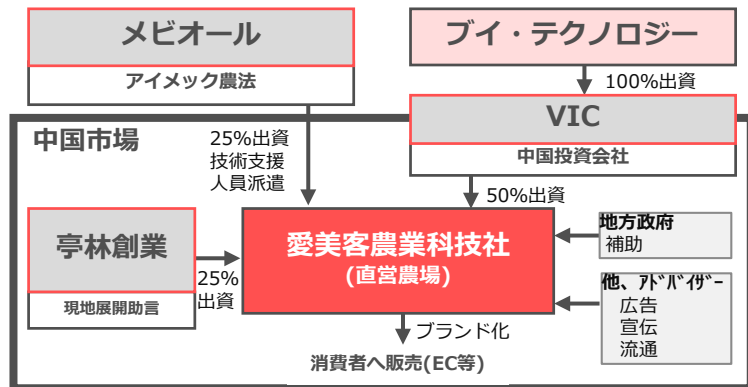


## 2. 合弁会社「愛美客農業科技」

VIC、メビオール社、亭林創業の3社で設立

- 登録資本金：30百万(RMB)
- 直営農業におけるアイメックトマトの生産販売

(図)合弁会社と各社の関係



## 3. メビオール社/アイメックについて

ハイドロゲル技術を農業に応用しアイメックを世界に先駆けて開発



メビオール株式会社

医療用に開発してきた膜およびハイドロゲル技術を農業に展開し、安全、高栄養価の農産物を生産する持続的農業技術(アイメック®)を世界に先駆けて開発

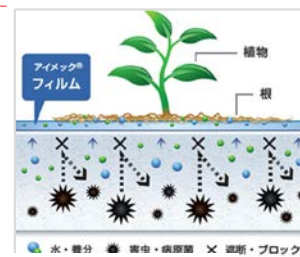
ウェブサイト →



#### アイメック®



- 高濃度・高糖度を実現
- 安心・安全
- 世界各国で特許取得済
- 土壌を問わずに栽培可能
- 未経験者でも短期間で習得可能



アイメック®システムによるトマト栽培



# (5) 対処すべき課題

## ② 中長期的な成長を実現する為の取組み(サステナビリティ全般) 5/5

サステナビリティの視点から、会社の持続的成長とその先にある経営理念の実現に取り組みます。

### 経営理念

大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し、社会に貢献します。

### 経営方針

独自の強みで、規模の拡大と収益の安定化を実現し、  
世界有数の製造ソリューションプロバイダーを目指します。

### 事業(分野別)

FPD製造装置

半導体製造装置

部材・サービス

農業、他

### 施策

M&A

R&D

顧客

SCM

人材

### サステナビリティ

#### 環境

- 気候変動(FPDの省電力化技術開発)
- 資源保護(FPD/半導体歩留まり改善技術)
- 汚染防止(各地環境法令に準じた生産活動)
- 脱炭素(検討中)

#### 社会

- 安全(安全教育/装置の安全対策)
- 社会貢献(柔道支援/女子柔道部運営/青少年育成)
- サプライチェーンマネジメントの強化(創喜会)

#### ガバナンス

- 監督と執行の分離  
取締役5名(内社外取2名)、指名・報酬委員会の設置、他
- リスクマネジメントの強化(本部制/関係会社管理室を整備)
- ステークホルダーとの対話(情報開示と対話の体制を整備)

### 最近のトピックス

【社会】愛媛県西条市が開催した柔道教室に、講師を派遣



【ガバナンス】指名・報酬委員会(任意の諮問機関)の設置を2021年2月に決議

【環境】廃棄中小型OLEDの再生事業に2019年着手(サルベージサービス事業)



良品化→

### 役職員行動指針

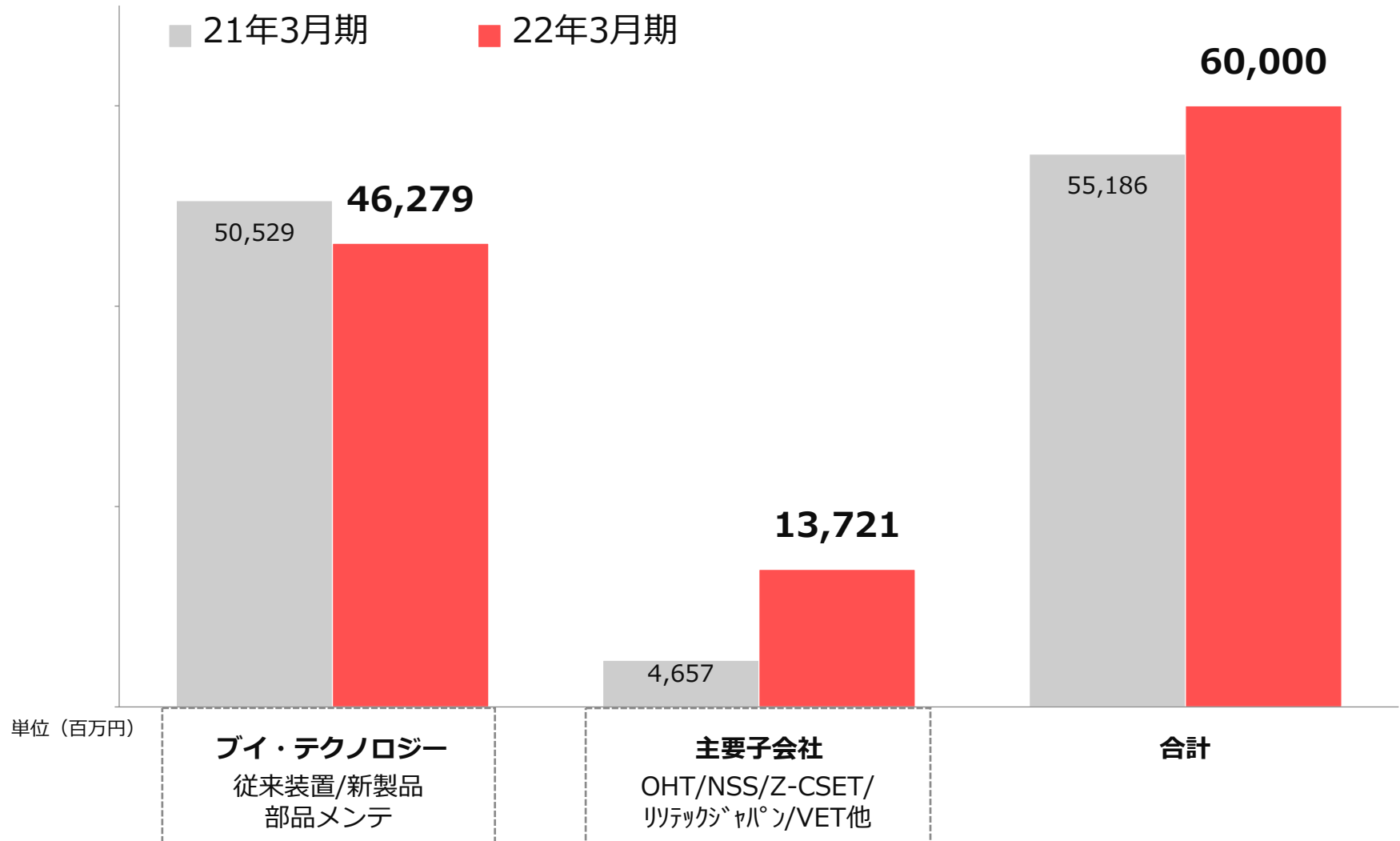
1. 気迫をもって臨んだか？
2. 誠意に反することなく、言動に恥じる事はなかったか？
3. 十分に努力し、最後まで全力で取り組んだか？

# 第25期(2022年3月期)の連結業績および配当予想

業績予想	21年3月期(実績)		22年3月期(予想)		対前期増減率
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	55,186	100.0%	60,000	100.0%	8.7%
営業利益	6,604	12.0%	7,200	12.0%	9.0%
経常利益	6,836	12.4%	7,050	11.8%	3.1%
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,513	6.4%	4,300	7.2%	22.4%
EPS	363.41円		444.70円		—

配当予想	21年3月期(実績と計画)	22年3月期(予想)
中間	60円(実績)	60円(予想)
期末	60円(予定)	60円(予想)

# 第25期(2022年3月期)の通期売上予想内訳(会社別)



# 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、将来の事業の拡大や経営基盤強化の為に必要な内部留保の充実を図りつつ、配当の安定性・継続性を考慮の上、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

上記基本方針および当期業績等を勘案し、期末配当金を下記の通りとさせていただいております。

**第24期 期末配当金： 1株につき金 60円**

**効力が生じる日（支払日）： 2021年6月25日（金）**

# 第2号議案 定款一部変更の件

1. 提案の理由：サステナビリティ(持続可能性)を意識した企業経営の一環として、既存事業の分野にとらわれずに世界規模の社会課題解決の事業化に農業分野で取組む為に、定款第2条【目的】に所要の変更を行うものです。

現行定款	変更後定款
<p>【目的】</p> <p>第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>1 ～ 2. (条文省略)</p> <p>(新設) (新設)</p> <p><u>3. 前各号に掲げる機器、製品及び部品の輸出入</u></p> <p><u>4. ～ 7. (条文省略)</u></p>	<p>【目的】</p> <p>第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>1 ～ 2. (現行どおり)</p> <p><u>3. 農作物の生産及び販売</u></p> <p><u>4. 農作物の生産に関わる装置及び資材の開発、製造、販売</u></p> <p><u>5. 前各号に掲げる機器、製品、部品並びに農作物の輸出入</u></p> <p><u>6. ～ 9. (現行どおり)</u></p>

**株式会社ブイ・テクノロジー  
第24回定時株主総会にご出席頂き、  
ありがとうございました。**